

'10.2

毎月1回20日発行 定価 1部60円
発行所 兵庫県商工連合会
発行人 会長 木南岩男
神戸市中央区花隈町6の19
☎078(371)1261(代)〒650-0013
http://www.shokoren.or.jp/
編集人 岡田奈良夫
印刷所 大和出版印刷株式会社
会員の購読料は会費に含んでおります

第 630 号

兵庫県 商工連会報

(題字は井戸知事)

Hyogo Prefectural Federation of Societies of Commerce and Industry



◀小鼓 (路上有花720ml、1,800ml)

▲大吟醸酒の搾り作業の様子

Contents

- 県連合会Letter 2頁
 - ・若手リーダー育成研修会
 - ・県青連第3回理事会
 - ・第3回理事会
 - ・第2回商工会女性部幹部講習会
- 商工会Letter 3～4頁
 - ・神戸ミルキーウェイ「冬の螢」[第15回わくわくふらり市](神戸町)
 - ・「合格祈願鍋」を発売(朝来市内4商工会)
 - ・朝来BBプロジェクト(朝来町)
 - ・サンタクロースからのクリスマスプレゼント(出石町青年部)
 - ・芦屋市中央区ウィンターフェスティバル(芦屋市)
 - ・ペットボトルツリー点灯式(美方郡青年部連絡協議会)
 - ・第1回上郡駅前イルミネーションイベント(上郡町)
- あなたのまちの元気な企業(丹波市) 5頁
- 地域力連携拠点事業 6頁
 - ・第3回京都・兵庫地域力連携拠点相互連携連絡会議
 - ・第3回地域力連携拠点事業連絡会

丹波市市島町の清酒「小鼓」、栗焼酎「古丹波」で知られる株式会社西山酒造場(代表取締役・西山周三氏)は、日本酒・焼酎といった業種型伝統家業から、米の「健康・美容・環境」効能をテーマにした新しい業態の提案企業に脱皮を図るため、社員の意識改革に着手。従業員のモチベーションを向上させ、成長期待企業・経営革新計画の認定に続き、自社だけではなく、「丹波地域」全体が盛りあがるべく、地域資源活用プログラム認定企業、農商工連携認定企業にも選ばれ、新しい発想で、もの・サービスづくりを行っている。

新しい発想で地域の発展を担う
株式会社 西山酒造場(丹波市)

組織に活力を与える リーダーシップを発揮するために 若手リーダー育成研修会

県連合会と中小企業大学校は、十二月三、四日に、福岡町・中小企業大学校関西校で若手リーダー育成研修会を共同開催した。研修では今後の商工会を担う若手職員を対象に、組織に活力を与えるリーダーシップを発揮するための視点や行動について学んだ。

一日目は、(株)フェアウインド代表取締役・中井嘉樹氏より自

身のリーダーとしての現状を客観的に見つめ直し、活かしていくべき個性・強みを把握するための自己分析、行動指針について説明があった。

二日目は、(有)インタープレフ・マネジメント代表取締役・宇治川一清氏が、高い理想を掲げ、その実現に向かって毎日の職務に意欲的に取り組み、周囲の目標像となつて組織を活性化していく「自立型人間」の発想や言動について話された。

参加者にも好評で「励みになった」という意見が多かった。

県青連第三回理事会

県商工会青年部連合会（霞末浩二会長）は、十二月八日に県商工会館（神戸市）で第三回理事会を開催し、次の二議案について協議を行った。

第一号議案 平成二十一年度県青連経営革新研修会（案）

第二号議案 平成二十二年年度事業計画（案）

第一号議案では「経営革新承認の取り組み方とメリットについて」をテーマとした研修会の開催について協議した。本研修



▲岡田専務理事の挨拶

会では、実際に青年部員が取り組んだ成功事例の発表及びパネルディスカッションを行い、全青年部員を対象として、一月二十七日に福岡町商工会館で開催することとした。

第三回理事会

県連合会は、十二月二十二日、県商工会館で第三回理事会を開催した。提出議案は次の通り。

第一号議案 商工会職員の県連帰属化について

第二号議案 商工会統一諸規程・県連合会規程「職員服務規程」の一部改正について

第三号議案 台風九号に係わる義捐金の配分について
審議の結果、いずれも原案どおり承認された。



▲リーダーとしての行動指針について意見交換

北野プラザ六甲荘において、商工会会長会議を開催することとした。義捐金に関しては、災害救助法の指定を受けた佐用町、宍粟市、朝来市（朝来町）の各商工会に、中小企業者の被害総額割に基づき総額二千五百五十万円を配分することとした。

企業繁盛に繋げる 「自分磨き」を学ぶ 第二回商工会女性部幹部講習会

十一月二十七日、県女性部連合会（行 幸子会長）は、神戸市・六甲荘にて、第二回商工会女性部幹部講習会を開催。県下商工会女性部の幹部部員ら七十五名が参加した。

研修では、(株)佳論・辰巳明弘氏より、「輝く自分ブランドの創造」と題し、企業繁盛に繋げるための自分磨きについての講演が行われた。

挨拶や話し方など、なかなか実践できないことについて、身近な例を用いてグループ演習を実施。講師の笑いを取り入れた口調もあり、参加者は積極的に演習を行った。

研修後、女性部ポータルサイトの作成等、執行部より県女性連事業の報告が行われた。

主な行事予定

26日(金)	臨時総会
11日(木)	理事会
5日(金)	正副会長会
3月(のこよみ)	第四回人事管理委員会
22日(月)	者試験(二次面接試験)
17日(水)	商工会等職員統一採用候補者試験
8日(月)	雇用問題小委員会
1日(月)	第四回商工会等職員継続研究会

2月のつよみ

短信

- ◆十二月四日(金) 第八回商工会職員県連帰属化問題検討委員会
- ◆十二月七日(月) 第一回商工会地域活性化研究会
- ◆十二月十四日(月) 第三回人事管理委員会
- ◆十二月十五日(火) 正副会長会



最高の信頼を
めざして。

三井住友銀行

神河町の冬の風物詩

神河ミルキーウェイ「冬の蜩」第十五回わっくわくぶらり市

～ 神河町商工会 ～

神河町商工会（堀口勝久会長）

では、神河町と共催で十二月六日に神河ミルキーウェイ「冬の蜩」と「第十五回わっくわくぶらり市」を開催した。同町では平成八年より寺前商店街にて「わっくわくぶらり市」を開催

みとして町とタイアップして、寺前駅前の各店舗にイルミネーションを飾り、同日夕刻にイルミネーション点灯式を行った。

同町商工会青年部（高橋昭博部長）は、この催しの中で神河B級グルメ新作発表会を県の地域元氣回復支援事業の認定を受けて実施した。発表会に向けて委員会を立案検討し、試作を重ねて、神河お好みロール（お好み焼きのクレープ風）と神河

ボール（山の芋の一口揚げボール）、神河汁（地元野菜の具たくさん味噌汁）の三品を提供した。これらの材料は、神河町特産の山の芋（自然薯）や地元野菜、手作りにこんやく、手作りみそ等を使用したもの。青年部コーナーには行列ができ、どの料理も好評を得た。同日に行われた人気投票のグランプリには神河お好みロールが選ばれ、投票者に抽選で豪華賞品を贈呈した。

同部では、今後も町内商業、農業の活性化と、地域の元氣を取り戻すべく、様々な催しに神河B級グルメを出品し、普及に努めていきたい。

特産品と史跡・観光の融合

合格祈願鍋を発売

～ 朝来市内四商工会 ～

朝来市内四商工会では、大好評だった「あさごぼっか鍋」に

鍋」に続いて、特産品と史跡・観光を融合させた「合格祈願鍋」を発売した。「合格祈願鍋」には日本三大ネギの一つで腦を活性化させるアリシンという成分を多く含む岩津ねぎが「あさごぼっか鍋」の二倍入っている。

また、同市内の當勝神社の絵馬を同封しており、願いごとを書いて同神社に郵送すれば、祈禱してくれるサービスも付いている。あさごぼっか鍋

合格祈願鍋 六千円（三～四人前）
銀山鉾鍋 八千円（ ）

【問い合わせ先】

（朝来町商工会〇七九一六七七―二九〇）



▲栄養たっぷりの「合格祈願鍋」

（みのり館 〇七九一六七八一四一四）



▲神河B級グルメ新作発表会

ブルーベリーの町、朝来を目指して 朝来BBプロジェクト ～ 朝来町商工会 ～

朝来町商工会（松本早正会長）は、地域活性化と明るい町づくりを目指した長期的な取り組みとして遊休農地・耕作放棄地を有効利用し、体にもよく多様な利用法が見込めるブルーベリーの栽培に着目。あさご観光協会との共同事業「朝来BBプロジェクト」を進めている。

今年度は、植え付けを実施し、平成二十二年度以降は、朝来のブルーベリー普及促進活動、栽培先進地との情報交換、観光農園のオープン及び運営母体の発足に取り組んでいく。

サンタクロースからの クリスマスプレゼント

～ 出石町商工会青年部 ～

出石町商工会青年部（上坂泰三部長）は、クリスマス・イブの十二月二十四日にサンタクロースやトナカイの格好をした青年部員約二十名が、同地域のお年寄りや子ども達の各家庭を訪問してプレゼントを配った。

この事業は「子ども達を喜ばせて町を盛り上げよう」とスタートし、今年で十五回目。事前に応募があった豊岡市出石町内の幼児や小学生のいる家庭六十五軒を回った。高齢者施設「出石荘」の訪問では、メンバーとの記念撮映やおしゃべりを楽しんだ。



▲サンタクロースからのプレゼント

光の夜に彩られて…

芦屋市中央地区 ウィンターフェスティバル

～芦屋市商工会青年部～

芦屋市商工会青年部（内藤貴之部長）は、阪神・淡路大震災から十五年を迎えるにあたり、芦屋市内でも大きな被害を受けた本通りと三八通りを中心にイルミネーションの光を灯すウィンターフェスティバルを開催している。一月三十一日まで、人と人をつなぐイルミネーションとして約一万個のLEDが夜の街並

みを優しく照らしている。

両通りは震災で大半の店舗が全半壊し、区画整理などで街並みは一変した。新しい店舗や住民は増加傾向にあり、震災を境に「芦屋」に対する住民の想いに温度差が感じられる中、地域に根付いた活動を展開する青年部として地域住民と商工業

者が一体となって地域のにぎわいづくりをしようと、このイベントを企画した。地元の商店会や自治会とともに実行委員会を



▲オープニングイベントでのプラスバンド演奏

組織し、街のにぎわいづくり一括助成事業の一環として、十二月五日には点灯イベントを開催した。

街を明るく彩る

ペットボトルツリー点灯式

～美方郡商工会青年部連絡協議会～

十二月十一日に美方郡内の商工会青年部が連携し、各地区でペットボトルツリーの点灯式を行った。今年で二年目を迎えた点灯イベントは、地域をあげてペットボトルのリサイクルに取り組むことで、児童を中心に地域住民の環境への意識を高めるきっかけになればと企画したもの。香美町商工会香住支部では香美町香住文化会館前にて、長瀬

幸夫香美町長にも参加いただき、昨年度の約五メートルのクリスマスツリーに、カラーセロハンでサンタクロースに模した新作クリスマスツリーを加え、点灯式を行った。その他に、同町村岡支部では民俗資料館まほろば前、同町小代支部では物産館石楠花前、温泉町商工会では湯村温泉ポケットパークで開催された。

イベント会場では、直前まで雨が降りしきる中、親子連れなどが多く参加し、青年部員の扮したサンタクロースやトナカイの登場など、一足早いクリスマスムードに包まれた。ツリーは

点灯後も約一カ月間、師走の夜を歩き交う人々の目を楽しませていた。



▲香住支部の新作クリスマスツリー

第1回上郡駅前イルミネーションイベント ～上郡町商工会青年部～



▲上郡駅前のイルミネーション

上郡町商工会青年部（杉本誠良部長）は、十二月二十日に上郡駅前観光案内所周辺で、「第一回上郡駅前イルミネーションイベント」を開催した。このイベントは上郡町の玄関口である駅前を華やかに彩ることで町内を活気づけようと、上郡町観光案内所と町役場・青年部が共同で企画・協力し実現した。

当日は、上郡町名物の

モロヘイヤ入りうどんの販売をはじめ、観光案内所と青年部の出店で来場者をもてなした。また有志によるジャズピアノやリコーダーの演奏、上郡町のマスコットキャラクターである「円心くん」、「エイトちゃん」やサンタクロースの着ぐるみを着た青年部員が会場を盛り上げた。冷え込みが厳しい中、開始早々から地域住民が多数来場し、午後



▲上郡町のマスコットキャラクター「エイトちゃん」

五時の点灯時には大きな歓声が上がった。

同青年部では、このイベントを今年だけで終わらせず、年々工夫を重ね、ゆくゆくは冬の上郡町名物にしていきたいと考えている。

あなたのまちの元気な企業 ⑭ 株式会社 西山酒造場

（丹波市）

丹波の地から生まれた清酒製造業

同社は「丹波の地においてもの造りを行います」「丹波の地のものを提供していきます」「丹波の地ともので癒し・やすらぎを感じていただけるよう努力します」の方針のもと、ものづくりを進めている。清酒「小鼓」

は大正三年に俳人高浜虚子が命名、それ以来、脈々と「小鼓ブランド」を守り続けている。また、同社の伝統ある主屋・堀・三三庵の建築群は、国の登録有形文化財に登録されている。

事業承継によるバトンタッチ

同社は嘉永二年（一八四九年）に創業、百六十年の長い歴史を持つ。二年前社長に就任した六代



▲小鼓微発泡シリーズ

目蔵主西山周三氏は、平成十三年にテレビ局勤務から実家に帰

郷し当社に入社。その頃の売上高構成比は100%を清酒が占めていたが、「伝統産業こそ技術革新を起こし、新しい創造をしていくことが重要」という信念をもって事業に取り組んだ。

地域資源活用による新製品の開発、農工商連携による新規事業に進出

地域から大都市圏へ。そして、世界への売り込みを目指す。「市場」を強く意識し「中小企業地域資源活用プログラム」の認定を目指した。地域資源活用の事業名は、地元丹波市における地域資源基本構想の農林水産物である兵庫米、丹波黒大豆、丹波大納言小豆、ブルーベリー、も

もを使った女性好みの美味ほろ酔いリカールの開発および販売。近年、清酒の需要は減少しており、消費者の酒類に対する嗜好の多様化により「リキュール」「発泡酒」などの低アルコール品は需要が急増している。こうした中、打ち出した新商品の特長は、業界初の半熟2段階醗酵製法による低アルコールのり

カーである。また、販売チャネルも従来からの問屋に依存しない直販ルートへの変更、インターネットによる通信販売へ重点を置いた。

農工商等連携事業においては、同社では甘酒を提供し、農林水産業のヨーグルトを活用したノンアルコールの新製品を開発、販売する農工商等連携を推進している。

地域経済活性化に貢献する企業を目指して

地元小学校と酒米の田植え・稲刈り、地元中学生のインターンシップ受け入れ、京阪神の大学との産学連携等、これまでに全くなかった酒蔵として、メディアにも多く取り上げられている。また同社では、地域のごみ拾いボランティアにも積極的に参加し、地元企業の交流を目的としたソフトラボール大会「小鼓杯」の企画運営・開催等も行っている。

兵庫県は「山田錦」をはじめとする酒造米の一大生産地であり、熟練の技と経験を持った技能集団「丹波、但馬杜氏」の地でもあり、自然の良水にも恵まれていることから、雇用面に関しても「地域活性化の切り札」として、同社が将来的に地元丹

波の雇用の場を提供できると確信している。

新しい販路の開拓、海外輸出へ

上記の発想・行動の質的転換を契機に、売上高の25%をインターネット、DM、地元のイベント等、直接販売が占めるまでになっており、古い蔵を改装し、観光客を丹波に引き寄せる構想を達成した。三年後にはその比率を40%までアップさせる予定である。売れ筋商品の大半は、女性従業員のアイデアから生まれた低アルコール、ノンアルコールが占めている。また、海外市場開拓にも前向きで、中国・香港・アメリカ・シンガポール等に輸出され、現在売上の8%を占める輸出売上高を三年後には20%まで増やす計画である。既存の問屋・小売店の流通だけでなく、早くからインターネットをはじめ、直販体制を築いていたことが、今の成功に繋がっていると自負している。

イノベーションによる社員意識改革

西山氏の社長就任当時は、少子高齢化、若年層のアルコール離れなど、日本酒を含め、アルコール市場を取り巻く環境が厳しくなっていた。同氏はまず

企業概要

- ①社名 株式会社 西山酒造場
- ②本社所在地 〒669-4302 兵庫県丹波市市島町中竹田1171
- ③創業 1849年（嘉永2年）
- ④事業内容 清酒・焼酎・梅酒・グラッパ等の製造・販売
- ⑤役員 代表取締役 西山周三 取締役会長 西山裕三
- ⑥資本金 2,000万円
- ⑦従業員 22名
- ⑧受賞歴
 - 平成19年（平成18酒造年度）全国新酒鑑評会 金賞
 - 平成18年（平成17酒造年度）全国新酒鑑評会 金賞
 - 社団法人 兵庫工業会グッドデザインひょうご 受賞
 - 社団法人 関西ニュービジネス協議会NBK 大賞 受賞

パートも含め社員のベクトルを一つに合わせるべく、「丹波のリラクゼーションの創造と提供」という企業理念、社員行動指針を立て、採用・評価・報酬・能力開発といった人的資源管理をトータルで行うことで、社員のモチベーションアップを実現した。生産管理・マーケティング・財務会計・環境経営などテーマを決めて行う週一回の早朝勉強会、月一回の外部研修などの社員教育の徹底と、社員の半分を占める女性の積極的な登用により「これまでになかった製品」を造り出そうとしている。

統括応援コーディネーター 穴田喜代嗣



▲但馬・京丹後地域の連携について検討

第三回「京都・兵庫地域力連携拠点相互連携連絡会議」が、平成二十一年十二月二十四日、県商工会館において開催された。同会議は、地域力連携拠点事業の一環として、京都府から兵庫県へ伸びる北近畿タンゴ鉄道が地域資源活用認定を受けたことをきっかけに開催されたもので、通称『たんたん連携』と呼んでいる。兵庫県の但馬地域と京都府の京丹後地域を中心に地域活性化を推進するのが狙いで、このような府県をまたぐ地域力連携拠点事業としての取り組みは、全国的にもあまり例がなく、近畿経済産業局をはじめ関係諸機関から注目されている。現段階での参画機関は、中小

第三回京都・兵庫地域力連携拠点事業相互連携連絡会議

企業基盤整備機構近畿支部、兵庫県・京都府商工会連合会、(財)ひょうご産業活性化センター、(財)京都産業21、但東町商工会、京丹後市商工会であり、順次増えていく予定である。

会議の当日は、県連合会の岡田専務理事が歓迎も含めた挨拶を述べた後、事務局より兵庫県但馬地域の活動状況について紹介した。

具体的な事業として、バイヤーとの内覧会の計画についての検討を行い、特産品等の商品改良、販路開拓のため、直接売場で特産品を取り扱っている百貨店売場の担当者や専門家と個別相談会を実施する。また消費者ニーズにあった特産品づくりへのアドバイスを受けるとともに、流通業者との交流の機会を創出し、製造業者相互に課題やノウハウを情報交換すること、取扱商品の改良促進の参考にする。また観光面については、今後の検討課題となった。

今後も但馬・京丹後地域の連携事業について意見交換を行い、具体的な地域活性化に向けたプランづくりに取り組んでいく。

第3回地域力連携拠点事業連絡会

県連合会は、十二月十八日、県商工会館において、平成二十一年度第三回地域力連携拠点事業連絡会を開催した。

県下各拠点の商工会から、応援コーディネーターと事務局担当者、近畿経済産業局中小企業課の鈴木経営承継専門官、中小企業基盤整備機構の上山地域拠点コーディネーター、上宮事業承継コーディネーター、県経営商業課の清家課長、円増、谷口課長補佐が出席した。

岡田専務理事の開会挨拶の後、各担当者が次の三項目を報告した。

- ①経営支援アドバイザーについて
- ②各拠点での活動報告について
- ③近畿経済産業局の中間検査における指摘事項について

各報告終了後、協議事項として、事業仕分けに伴い、「今後の地域力連携拠点事業について」をテーマとし、出席者による活発な意見交換が行われた。

申告書の作成は 国税庁ホームページの「確定申告書等作成コーナー」で!!

画面の案内に従って金額等を入力すれば、税額などが自動計算され、所得税の申告書や青色申告決算書などを作成できます。

「e-Tax」を利用する方にもおすすめ!

「確定申告書等作成コーナー」で作成したデータは、e-Tax(電子申告)を利用して提出できます。

「e-Tax」を利用して申告すると・・・

- 1 最高5,000円の税額控除
- 2 添付書類の提出省略
- 3 還付金がスピーディー

国税庁ホームページ www.nta.go.jp

事業承継フォーラム2010in 近畿

事業承継に立ち向かう中小企業の挑戦! (無料・先着100名)

日時: 平成22年3月5日(金) 13:00~16:30

場所: 経営支援プラザUMEDA (大阪駅前第3ビル19階)

【問合せ】中小機構近畿支部 小峯 TEL 06-6910-3866 / FAX 06-6910-3867

わたしたちジブラルタ生命が、サポートいたします。

商工貯蓄共済制度

兵庫県商工会連合会が実施している商工貯蓄共済制度の生命保険部分はジブラルタ生命が引き受けています。



—中小企業と共に50年—

商工会の共済事業として会員の福利厚生をお手伝いする

県 共 済

兵庫県火災共済協同組合
兵庫県共済協同組合

神戸市中央区中山手通7丁目28番33号(県立産業会館内)

☎ 078-361-8080(代) Fax 078-371-6757

ホームページ www.Ken-Kyosai.or.jp